

育英会だより

発行所
鯉 漁船海難遺児育英会
東京都千代田区内神田
2丁目2番1号
鎌倉河岸ビル内
電話 03(254)7543
印刷 柳連合印刷センター
電話 03(582)8541



おさしみと
お父さん
山口県萩市
越ヶ浜中学一年
阿部 嘉良子

私の父は、九年前、私達の暮しを立てる為に、海で亡くなりました。父の死後二週間後に弟が生まれました。それから、母と、祖母は、四才の私をはじめ、妹と、弟を育てるのに大変だったと思います。

小学校の低学年の時には、友達や、父親の話をしているのを、とてもうらやましいと思った事はありませんが、経済的に、父が、いないという事を感じたことはありません。別に気にもしませんでしたが、私達が、父がいないという事で、ふびんな思いをしないうちに、両親のいる家庭と、同じようにしていくのは大変だったと思います。

母は、私に「自分の将来は、自分で決めなさい」と、いいます。お父さんがいないから、大学へ行くのはやめるという事はないように私が、高校を卒業する時に、保険のお金が、おけるようになっていくそうです。私は、その向がみられます。今回の調査では、この傾向がはつきり出ております。そして総所得も低く、年金比率も低い船員保険世帯以外の世帯により問題があると思われまふ。このようにみてきまふと、現状の年金比率の問題は、そのまゝ、くらしの苦しさを示しているといえます。公的年金が遺族のくらしを満しうる水準に達してこそ、はじめて年金比率の高さが、福祉国家としての指標になるといえます。

漁業と社会保障 (2)

一家の大黒柱を亡くした海難遺族のくらしにとり、遺族年金等公的年金が大きな支えになっていること、また、保険によってその支える力に格差があることも、前回ふれたとおりです。

くらしを支える遺族世帯の月額総所得の中で、公的年金が占める比率を年金比率といいますが、この比率の大きさは、二つの条件に左右されます。その一つは、世帯員が働いて取得する賃金所得やその他の収入等の大きさで、もう一つは、年金額の大きさによって、この年金比率は違ってきます。

現状の年金制度と遺族世帯の所得水準のもとでは、世帯員所得等の水準の低い世帯ほど年金比率が高いという傾向がみられます。今回の調査では、この傾向がはつきり出ております。そして総所得も低く、年金比率も低い船員保険世帯以外の世帯により問題があると思われまふ。このようにみてきまふと、現状の年金比率の問題は、そのまゝ、くらしの苦しさを示しているといえます。公的年金が遺族のくらしを満しうる水準に達してこそ、はじめて年金比率の高さが、福祉国家としての指標になるといえます。

まで考えてくれる母に、ありがたさでいっぱいです。

私は、今、バレーボール部へ入って、毎日毎日、遅くまで練習しています。

ふえつづける学校教育費負担

文部省は、「父兄が支出した教育費」についての四十九年度と五〇年度の調査結果と、五十二年の「学校給食費調査」の結果を相次いで公表しました。この資料により簡単にそれぞれの動向を紹介します。

一、父兄が支出した学校教育費の概要

保護者が子供の学校教育のために年に支出した児童・生徒一人当たりの学校教育費は、五〇年度でみまふと、小学校五八、三二九円、中学校七九、九六五円、全日制高校一〇〇、二六二円でした(小・中学校教育費には、学校給食費を含む)。

この額は、本会が設立された昭和四十五年を基準にしてみまふと、この五十年間に小学校は二・一九倍、中学校二・一六倍、不安定な雇用関係におかれている人が多いことも問題です。

また、身近に働く場がなくて困まふおられる母親も多くみられます。さらに、二〇〇カイル問題が最も身近な働き場である水産加工業等にも影響を与えつつあるのが現状です。

社会保障の充実と、働かなければならぬ母親の職場を安定的に確保できる施策を切望してやみません。そして、家族全員が健康に留意したくらしをされるのがより大切です。今回の調査では、現在働いておられない七二人の母親のうち、働きたくても体が弱い、働いていたが健康を害してやめた方が七六%もおられます。

二、上昇する学校給食費

文部省は、前述の調査とは別に毎年五月現在の学校給食費の調査を行っており、本年の結果を公表しました。これによりまふと、保護者の負担額は全平均月額では、小学校低学年二、四四六円、同高学年二、四六七円、中学校二、八五三円です。

前年同期に比べて上昇率は、本年はそれぞれ六%にとどまり、前年の上昇率約一二%の半分といえます。しかし、これを四十七年五月(調査方法の変更で四十五年からはとれない)と比べてみまふと、小学校、中学校ともこの五十年間に二倍強も上昇しております。

『募金・寄附金』お礼

昭和五十二年七月から九月までに御協力いただきました漁協系統募金及び一般寄附金は、次のとおりです。ここに御芳名を掲げ、厚く御礼申し上げます。

※ 実績(四月〜九月)

一、漁協系統募金

五、一七七、〇〇〇円

一、一般寄附金

一四、七九五、一九八円

合計 一九、九七二、一九八円

※ 御芳名(敬称略)

一、漁協系統募金(系統扱い寄附金含む)

〔七月〕 △大島みぎわ △中央魚類 K・K社長片桐栄七 △荒 美帆

〔八月〕 △参議院議員楢垣徳太郎募金箱 △海洋画家佐藤幹児(第二回チャリティー展) △鶴見輪送 K・K鶴宏丸・東京港区(全日海経由)

△埼玉県埼玉市仲卸人組合

〔九月〕 △吉岡孝則(全日海千葉支部経由) △三菱信託銀行



生産者への感謝の気持ち

埼玉県大宮市にある埼玉県卸売市場の埼玉市仲卸人組合(高野好次組合長)が主催する「魚がし納涼の夕べ」が、去る八月六日開催されました。

この夕べは、昨年に続き二回目の催しで、昨日の催しものは、開設者、卸売会社及び関連店舗の協賛にふさわしく、仲卸組合の鮮魚部、大物部、塩干・冷凍部、合物・練部と出店者会のそれぞれが縁日店二十二店を出し、また、素人のど自慢大会など市場の活気を移したいろいろな催しが行われております。



右 高野組合長
左 鈴木理事長

(写真提供 日刊食料新聞社)

都道府県別奨学生数									
(昭和52年 9 月末現在)									
県 名	学資給与奨学生			奨学金 貸与奨学生	合 計	52年度第 2 回新規採用者			
	小学生	中学生	小 計			小学生	中学生	高校生 (貸与)	計
北海道	162	221	383	52	435	4	2	4	10
青森	101	102	203	43	246	3	—	—	3
岩手	76	96	172	45	217	2	3	1	6
宮城	54	88	142	20	162	1	—	—	1
秋田	2	6	8	1	9	—	—	—	—
山形	28	26	54	18	72	1	—	1	2
福島	32	42	74	16	90	—	—	—	—
茨城	10	24	34	7	41	—	—	—	—
千葉	37	15	52	5	57	4	—	—	4
東京	6	5	11	—	11	1	—	—	1
神奈川	6	12	18	8	26	—	—	—	—
新潟	23	36	59	7	66	2	3	—	5
富山	14	12	26	6	32	1	1	—	2
石川	19	17	36	8	44	—	—	—	—
福井	3	5	8	3	11	—	—	—	—
静岡	16	27	43	16	59	—	—	—	—
愛知	12	15	27	5	32	3	1	—	4
三重	16	23	39	15	54	—	—	—	—
滋賀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
京都	1	—	1	2	3	—	—	—	—
大阪	5	3	8	—	8	—	—	—	—
兵庫	13	22	35	16	51	—	—	—	—
和歌山	7	12	19	5	24	—	—	—	—
鳥取	17	14	31	8	39	—	—	—	—
島根	23	18	41	9	50	2	—	—	2
岡山	8	2	10	2	12	3	—	—	3
広島	2	4	6	3	9	—	—	—	—
山口	45	44	89	22	111	—	—	—	—
香川	11	11	22	10	32	2	1	—	3
徳島	11	16	27	13	40	—	—	3	3
愛媛	18	18	36	11	47	—	—	—	—
高知	31	31	62	12	74	—	—	—	—
福岡	18	21	39	2	41	—	—	—	—
福岡県有明海	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐賀県玄海	8	8	16	—	16	—	—	—	—
佐賀県有明海	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長崎	107	102	209	33	242	5	4	8	17
大分	10	15	25	3	28	2	—	2	4
熊本	7	5	12	4	16	—	—	—	—
宮崎	18	18	36	4	40	—	—	—	—
鹿児島	27	23	50	17	67	—	—	—	—
沖縄	2	—	2	—	2	—	—	—	—
合 計	1,006	1,159	2,165	451	2,616	36	15	19	70

漁船海難遺児のお母さんのこえ

職を求める母親の声

神奈川県の一母より

送っていただく学資金は、小学校の子には中学進学準備に、中学校の子には高校進学の支度にあてよう心がけております。

小さい子供をかかえ、働かなくてはならない私達母親のために、就職相談など、相談にのって下さるところがほしい。子供は中学に、高校へと進学して行きます。仕事をしながら不安な日々です。

(くらしのために、働かなければならない多くの母親からの声でもある。)

年金加給金の改善を

多くの母より

私の次男は、この春高校三年生になります。

死んではならない、子供を大きくしなければならぬの精神力で、苦しい家計のやりくりもものともせず生きてきました。十一年目頃から子供が働くようになる……との希望に、あとひと息という希望が私どもを支えてくれました。

私の夫の死亡当時は、乗組員の福祉問題など全く考えられず、遺族年金の算定の基礎となった標準報酬なども、実際より全く低く、遺族の生活は不安定なものでした。ただ生きていることがあたりまえのこととして生活をする人たちに比べ、死んではならない、生きなければならぬと積極的に生きることに当面した私どもの過去一〇余年の生活は、貴重な体験ともなったかもしれないが、生きなければならぬのだという簡単な言葉の陰に、幾多の切なさ、苦しさがありました。

子供たち三人は、日本育英会の特別奨学生として、また、二人の娘は海難遺児育英金の併給を受け、教育をうけることができ、それぞれ翔こうとしております。

はばたく子供ら

栃木県 一母より

末娘を高校を卒業させた現在の心境を述べさせていただきます。夫の死後一〇年は本当に生きなければならぬ。

全国仲間たち

上表の右欄の昭和五十二年第二回新規採用者は、本年第一回の願書締切り以降七月末までに願書を提出され、新たに本会奨学生となった七〇名の都道府県別一覧表です。左欄は第二回採用者を含めた現在の総奨学生一覧表にしてあります。

高校生の奨学金貸与奨学生数は、今回採用の一九名を加え、全員で四五一名となりましたが、この人数は前年同期と同数ですから、残念ですが希望者数はのびておりません。

本年度最後の奨学生願書の受付は、五十三年一月末までです。もしお知りあい未提出の遺児がおられたら、漁協に相談するように、お話し下さい。

お知らせ板にかえて

お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今回は、紙面のついでに「お知らせ板」をやりましたので、次の送金予定

のみお知らせします。

学資給与金、奨学貸与金とも十二月最初に、本年度最後の一月から三月分を送金します。十月に新しく採用の方は、十月から六カ月分です。ただし、貸与奨学生の希望者には一年分送金です。

系統通信

全国漁船海難遺児育英事業

事務担当者会議の概要報告

さる八月二十四日、コープビル会議室において開催され、県漁連・信漁連の担当者多数の参集をいただき、全漁連浜崎参事司会により終始熱心な討議が行われました。その内容を要約して報告します。

一、学資給与金及び奨学貸与金の増額について

ア、せっかくの育英事業も、現在の水準では低い。特に、貸与事業の不振の原因には、貸与金が実情にそぐわない低さにあると考えられるので、少なくとも月額五千円ぐらいまでには増額する必要がある。

イ、事業水準のアップは、当然育英基金の造成と関連する。両者を関連させた年次計画を作成し、説得力ある運動を推進すべきである。

二、第三期系統募金等今後の募金活動について

ア、第三期系統募金の有無について

上表の右欄の昭和五十二年第二回新規採用者は、本年第一回の願書締切り以降七月末までに願書を提出され、新たに本会奨学生となった七〇名の都道府県別一覧表です。左欄は第二回採用者を含めた現在の総奨学生一覧表にしてあります。

高校生の奨学金貸与奨学生数は、今回採用の一九名を加え、全員で四五一名となりましたが、この人数は前年同期と同数ですから、残念ですが希望者数はのびておりません。

本年度最後の奨学生願書の受付は、五十三年一月末までです。もしお知りあい未提出の遺児がおられたら、漁協に相談するように、お話し下さい。

お知らせ板にかえて

お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今回は、紙面のついでに「お知らせ板」をやりましたので、次の送金予定

の計画を作成し、所定の検討をお願いするようにしたい。特に、貸与については、これまで希望者が少なく予算を残している現状なので、なるべく早く、五千円程度へ引き上げるよう検討してみたい。

二、について

募金開始のおくれなどにより、五十一年度中に目標額を満していかない県は、極力本年度中に達成するようお願いしたい。また、第二期募金を達成した県におかれては、育英事業の充実、改善のため第三期募金を開始されるまでは、漁協婦人部活動を含めた平常の活動の中で、できる限りの御努力をお願いしたい。中央においても、この間、関連企業への呼びかけ一般募金に努力する。なお、平常活動のための募金箱の設置については、第三期募金計画と併せて検討することにした。

三、について

本事業の魅力化については、貸与・貸与額のアップのほか、御意見のよう運動方向に指向することは重要なことであり、育英会設立十周年(五十五年)記念を目標に考えて行きたい。

なお、本育英事業の補完的事業として、地方独自で実施される学資金等の貸与事業は、誠に結構なことと考えられるが、まず、お願いしたいことは、本育英会設立の趣旨にのっとり、公平なる励まし運動の基礎づくりに御協力願いたい気持ちである。

事務の簡素化については、逐次努めてきたところである。貸与事業の事務は、債権管理上これ以上簡素化することは、今すぐには無理で、実際の返還事務等を進めてみて努力したい。また、単協への負担は、返還金の代弁までは考えておらず、なるべく手数を煩わさない方向で考えていることを御了承願いたい。